# インフラ整備70年 講演会（第50回）

## ～戦後の代表的な100プロジェクト～

# 離島をつなぐ夢のかけ橋　天草五橋

## － 橋は西から 日は東から －

＜講演プログラム＞
1. 建設経緯
2. 計画
3. 施工
4. 完成後の効果・維持管理
5. 熊本県の天草構想

＜講演者＞
山尾 敏孝（熊本大学 名誉教授）
福永 靖雄（NEXCO西日本コンサルタンツ㈱ 代表取締役社長）
中島 英治（元日本道路公団 福岡建設局長）
加藤 捷昭（元川重工事 取締役 西部支社長
兼 川崎重工業㈱ 播磨工場 工事部長）
矢野 一正（鹿島建設㈱ 土木管理本部 橋梁統括部長）
戸塚 誠司（元熊本県 土木部長）

**2024年 5月17日（金）**

**講演会：15:00～17:00　意見交換会：17:00～19:00**

**場所：TKPガーデンシティ博多新幹線口（会場・WEBのハイブリット形式）**

**定員：会場 150名　WEB 1000名**

写真提供：第一復建（株）
1号橋（天門橋：左上・写真手前）、2号橋（大矢野橋：右上）
3号橋（中の橋：左中）、4号橋（前島橋：右中）、5号橋（松島橋：下）

天草の乱など、歴史上でも有名な殉教の島、天草諸島は、九州の熊本県の西方海上に位置する大小120の群島で、風光明媚な環境や温暖な気候と水産、鉱産資源に恵まれている地域であり、雲仙天草国立公園の一角を占めている。しかし、こうした観光・産業上の発展の要素に恵まれながら、離島であるという交通上のハンディキャップのため、産業、経済等においてその発展は阻害されてきた。

このような状況の中、地元の人達の本土と島を結ぶ『夢のかけ橋』への情熱は、徐々に燃え始め、昭和28年『離島振興法』により各種の基礎調査が実施され、天草連絡道路が事業化された。この事業には、5つの長大橋が計画されていたが、当時の日本の橋梁技術水準は欧米に比べ非常に遅れており、この天草五橋で『橋梁技術の原点ともいうべき』世界に通用する橋梁が計画された。

ここでは、天草連絡道路の経緯と海上橋梁の新しい技術へのチャレンジや幾多の課題を解決した工夫、天草五橋が成しえた効果などを紹介する。

（本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております）

**主催：（一社）建設コンサルタンツ協会　　後援：（公社）土木学会**

インフラ整備70年講演会（第50回）

# 離島をつなぐ夢のかけ橋　天草五橋　－橋は西から 日は東から－

《講演者略歴》
山尾 敏孝（熊本大学 名誉教授）
福永 靖雄（NEXCO西日本コンサルタンツ㈱ 代表取締役社長）
中島 英治（元日本道路公団 福岡建設局長）
加藤 捷昭（元川重工事 取締役 西部支社長 兼 川崎重工業㈱ 播磨工場 工事部長）
矢野 一正（鹿島建設㈱土木管理本部 橋梁統括部長）
戸塚 誠司（元熊本県 土木部長）

## 講演会 申し込み方法（変更がありますのでご注意ください）

- 会場（講演会2000円・意見交換会3000円）、WEB（講演会無料）どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP（https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/）よりお願いします。

**【注意事項】**
- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等はご遠慮頂きますようお願いします。

**＜会場参加について＞**
- 申込完了者は、**5/13(月)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせて頂きます。

**三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944**
**ｲｯﾊﾟﾝｼｬﾀﾞﾝﾎｳｼﾞﾝｹﾝｾﾂｺﾝｻﾙﾀﾝﾂｷｮｳｶｲｺｳｼｭｳｶｲﾖｳｸﾞﾁ ｶｲﾁｮｳ ﾅｶﾑﾗﾃﾂﾐ**
（申込完了者と振込結果が一致・確認できるよう備考等の追記をお願いします）

**＜WEB配信について＞**
- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の2日前までに送付させて頂きます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください（複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います）

**問合せ先　E-mail：infra70@jcca.or.jp**

## 「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期で　あり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるといって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、　（一社）建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとしました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

**＜次回講演会予定＞** 第51回講演会　2024年6月25日(火)　講演会 16:00～18:00　意見交換会 18:00～19:00

テーマ：「東京メトロ副都心線の建設 ～営団における新線建設のあゆみ～ 」
講演者；　矢萩 秀一（元東京地下鉄(株) 専務取締役）
入江 健二（元東京地下鉄(株) 常務取締役）
野焼 計史（元東京地下鉄(株) 専務取締役）
大石 敬司（東京地下鉄(株) 執行役員）

＊会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です